

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第15号 2016年5月28日発行
+++++

五月晴れの中、運動場に10名ほど年長者が集まりゲートボールの準備をしていました。亀井さんに声をかけられたので、「え、今日はお休みですか」と言ってしまいました。「これが仕事だよ」と言いつつ、『お〜いお茶』を勧められました。昼には、続々と大多摩地域から軽トラ、モミジマークの車が集まってきました。一大リーグ戦だったのです。失礼しました。

ニンニク（1年分くらい）とエンドウ（毎日食べている）は大収穫、これから大麦・小麦の収穫とさつまいもやネギの定植です。梅雨が近づいていますから、忙しいです。5月の報告と6月の予定をお知らせします。

会員および配信を希望される方に公開活動ニュースなどをお送りしています。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、顔のない薄情な「マスコミ」ではなく、顔見知り信頼の「ロコミ」で転送伝達していただけるとうれしいです。連絡先は下記メールアドレスです。

○予定

展示解説・作業予定日：5月31日（火）、6月3日（金）、10日（金）、17日（金）ほか。
参加希望者は木俣にメールしてください。kibi20kijin@yahoo.co.jp

1. 伝統知研究会、6月22日（水）18：30～、神田のECOPLUS事務所
2. 第37回環境学習セミナー、6月25日（土）、小菅村、山村の豊かさを学ぶ座談会、ミューゼス研究会担当。話題提供者：山下祐介さん（首都大学東京）、白水智さん（中央学院大学）ほか。詳細は添付しました。東京学芸大学環境教育専修生も参加します。
3. 自給農耕ゼミ第6回 日時：6月週末未定 藤野駅横の畑（藤野倶楽部）、雑穀栽培講習会、TT 藤野お百姓くらぶと一緒に各種雑穀を播きます。木俣研究員がお話と播き方などをお伝えします。
4. 民族植物学第10号 編集集中。第11号の原稿締め切りは2017年3月末を予定しています。
5. 伝統知シンポジウムの企画準備、2017年4月に藤野で開催予定。

○報告

1. 民族植物学ゼミ第3回 日時：5月4日（水・祝）9時から14時、小菅村 植物と人々の博物館 公開解説と小展示「欧米の雑穀」・「古守豊甫先生懐古一身土不二」。参加者2名、展示の概要はHPに掲載。
2. 自給農耕ゼミ第5回 日時：5月14日（土）13時から17時 小菅村中組研修所 雑穀栽培講習会は中川さん（上野原市西原）岡部さん夫妻（丹波山村）による伝統的な栽培法の指導。雑穀概説は木俣研究員がする。東京学芸大学環境教育専攻生実習ほか28名参加。岡部さんから頂いたキノアはよく発芽した。

3. 5月21日(土)は藤野倶楽部無形の家で原沢文庫の整理。書誌づくりや番号付けにご協力願いたい。また、植物や農業関連の良い本が1000冊以上あるので、ご利用ください。藤野陶器市で、木下さんと金子さんが作品展示とカフェをしました。小菅産 INCH 雑穀のパンが出る予定でしたが、来年に延期になりました。

4. ミューゼス研究会、5月24日、小菅村中央公民館、第37回環境学習セミナーの準備、トレイルマップ橋立などについて話しあった。

5. 環境省に申請していた補助は不採択でした。地道で先駆的な環境学習・保全活動が評価されないのは残念ですが、めげないで、いずれまた何か試みましょう。



写真1：(上) 特別小展示、(中) 雑穀栽培講習会、(下) 雑穀栽培見本園。



写真 2: (上) 藤野倶楽部無形の家の図書室 (原沢文庫)、(下) 藤野陶器市の『工房艸』

自然文化誌研究会 (東京都日野市): 代表 中込卓男、副代表 中込貴芳、小川泰彦
ミュージーズ研究会 / トランジション小菅 (山梨): 代表 青柳諭、副代表 亀井雄次
事務局: 黒澤友彦 (小菅村在住) npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館: 館長 木下善晴 (小菅村在住)

日本村塾生・研究員: 木俣美樹男 (東京)、西村俊 (石川)、藤盛礼恵 (千葉) ほか

連絡先: 木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

公式 HP: 植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

個人 HP: 生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

